

青森県の
可能性を、
活かすも、
つぶすも、
政治次第。

青森県 何が大切か。

我が青森県は、世界遺産白神山地をはじめ世界的に誇れる自然を有し、三方を恵みの豊かな海に囲まれたすばらしい地域です。

今、その愛すべき我が郷土が急速に押し寄せてきた時代の波に翻弄されています。未曾有の世界的な金融危機、生活不安、少子高齢化の進展や過疎化等、様々な問題を抱えています。まさに激動の時代です。こうしたためまぐるしい変化に対応できるように、変わらなければいけません。

しかし、ただやみくもにすべてを変えることが良いわけではありません。必要なのは、現実を見据えて時代遅れとなったシステムをスピーディに改めながら、もともとある強みをしっかりと伸ばして行くことです。

それはわれわれ自民党も同様です。平成21年総選挙の敗北の反省のうえに、立党以来護り続けてきた自由と民主の旗の下に、改めるところはしっかりと改め、守るべきところはしっかりと守り、安心、希望、誇りを持てるような活力ある「元気な青森県」を目指し、再出発します。

〒030-0803
青森市安方一丁目10-16
自由民主党青森県支部連合会
TEL 017-723-2454 FAX 017-777-5090
ホームページ <http://www.jimin-aomori.jp/>
自民党に対するご意見・ご要望などをお寄せ下さい。

今こそ、青森のために！

ふるさとマニフェスト

ローカルマニフェスト青森県版



自民党青森県連

景気対策
元気な青森を
つくりだすために
積極的な
景気対策を
進めます。



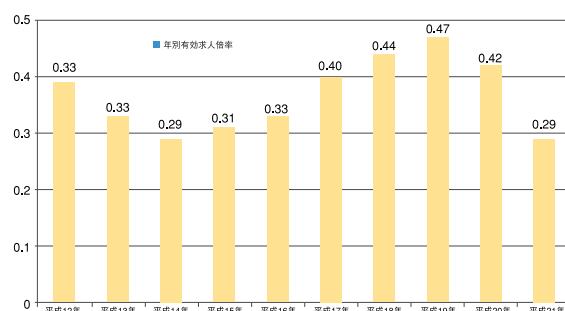
世界的に揺れ動く経済の中、日本、とくに地方はまだまだ厳しい状況が続いています。我が青森県は、全国に比べても景気回復の足取りは鈍く、公共工事の大幅減で建設業を中心に不振が続き、雇用情勢の厳しさから、なかなか抜け出せないでいます。

われわれ自民党は、金融政策、税、財政政策、成長戦略等、あらゆる政策を総動員し早期のデフレ脱却と景気回復を図るとともに、地方ならではの資源を活かした景気対策に取り組めます。

- 「地域資源を活かした豊かな産業のまちづくり」を産業施策として掲げ、研究開発支援や産学官連携の促進を図ります。
- 中小企業の資金繰りを万全にするため、新たな公的融資の枠組みを創設します。
- 経営コンサルタント料の補助、貸付制度を設けます。
- 県内の地方公共団体とともに、積極的に企業誘致を図ります。
- 新たな広域観光圏を整備推進し、観光産業の活性化とにぎわいを創出します。
- 東北新幹線全線開業をきっかけに、滞在型の広域観光を推進します。

雇用対策
生活の安定と
生きがいのために
安定した
雇用対策を
実現します。

青森県年別有効求人倍率



景気低迷を続ける我が青森県では雇用情勢が、ますます厳しくなっていく一方です。青森労働局によると、有効求人倍率(季節調整値、2009年12月)は0.30倍で、都道府県別でワースト2位。有効求人数は1万316人で、前年同月から17.9%も減少しています。

我が青森の未来を担って行く若者たちをはじめ、皆様の暮らしを守るためにも、しっかりとした雇用対策が急務となっています。

われわれ自民党は 全力で雇用対策に取り組めます

- 一定人数・長期間の正社員雇用の企業・個人事業種を対象に、自治体独自の補助金、納税制度を設けます。
- Uターン者の雇用に、自治体独自の補助制度を創設・拡充します。
- 異業種への転職を考えている人や休職中の人を対象とした職業訓練を拡充します。
- 就職希望者の多い県内の学校において、職業体験の機会を増やします。
- 離職者に対する再就職支援・生活支援を徹底します。

医師不足
対策
県民の
命を守る
安心医療を
充実させます。



大学医局からの医師派遣の減少と、過重勤務等による勤務医不足などの影響で、県内多くの自治体病院が経営悪化と医師不足の両面で多大な苦労を強いられています。とくに小児科、産科や麻酔科等は、勤務医離れが進み、医師不足が大きな問題となっています。私たちの命を守る医療サービスの提供にも支障を生じかねないような状況です。

われわれ自民党は、医師の雑務の軽減やチーム医療の推進などで、青森県内の医師確保に全力を注いでいます。

さらに、われわれ自民党の働きかけで、八戸市民病院に県内初めて配備したドクターヘリ。救急医療は時間との勝負です。緊急搬送の県内1時間体制を実現するためにも、ドクターヘリ2機体制、およびドクターカーの整備を進めます。



さらに、自民党は・・・

- 分娩費の実質無料化を推進します。
- 救急医療の充実を図るため、病院のベッド維持を図る目的で、診療報酬の支払い方法を変えます。
- 各地域の自治体病院の機能を再編成し、よりの確な医療サービスを図ります。

地域
インフラ
うるおいとゆとり、
にぎわいの
地域づくりを
目指します。



我が青森県は自然豊かな地域です。われわれ自民党は、人と自然の共生を第一に考え、皆様の暮らしを支える社会基盤の整備に努めるとともに、ハード面ばかりでなく、暮らしのうるおい、安全、にぎわいを創出するソフト面にも力を注ぎ、「真に魅力ある地域」の実現を目指します。

- 交流人口拡大効果が望める県立長根屋内スケート場の建設を推進します。
- 公共下水道事業の整備促進や浸水対策、地震対策、老朽化の進んでいる施設の長寿命化を図ります。
- 都市計画道路の整備を促進します。
- 無電柱化、電柱の地中化を図り、都市の景観形成を推進します。
- 学校・公共施設の耐震強化を早急に進めます。

国民がレッドカード!
迷走する
今の政府へ

日本の食を支える青森県を しっかりと支えます!

われわれ自民党は、我が青森県経済の活性化に重要な農林水産業振興につとめて参りましたが、ともすれば全国一律的な政策となりがちでした。この反省点に立ち、日本の食を支える農林水産業をさらに発展させるためにも、「適地適作」を基本に長期的な視点に立った継続性のある政策で、青森県が進める「攻めの農林水産業」を積極的にバックアップします。

さらに、食料品の原料のみ提供する1次産業にとどまることなく、食品加工(2次産業)や、販売・情報・観光(3次産業)へも積極的に乗り出し、付加価値と雇用の場を創り出す総合産業として、農林水産業発展に全力で取り組みます。

水産業対策

- 栽培漁業の推進及び活魚畜養施設の設置を推進します。
- 漁船漁業の再生に向けた取り組みへの支援をします。
- 魚市場機能の衛生高度化及び効率化への支援(ハサブ対応型魚市場の整備、現施設の衛生高度化)を図ります。
- 水産物の輸出をはじめとする加工流通を促進します(水産物輸出入、トレーサビリティの推進等)



農業対策

鳩山政権は、農家の皆様が血のにじむような努力で積み上げてきた土地改良事業費を、今年度の予算額5772億円からなんと2129億円、約63%もの大幅な削減しました。この理不尽な決定によって、農家の方々は事業もできず作物も作れない八方ふさがりの状況に追い込まれています。

われわれ自民党は、所得補償という甘いささやきで、実際は農業を壊すような現政権の政策に断固反対し、青森県の農業を守り抜きます。

- 農地復活や転作を促すため、「土づくり」を支援する政策を推進します。
- 遊休農地活用は農業者が中心に考えてもらい、バラマキではない農業支援策を図ります。
- 「攻めの農林水産業」販売拡大のため、異業種交流のイベント開催や経営コンサルタントを依頼する場合などに補助、貸付制度をつくります。
- 新規需要米(米粉用、飼料用米)の開発支援します。

林業対策

地球温暖化防止に向けた二酸化炭素の吸収等、森林が持つ諸機能の発揮には、健全な森林の整備が必要です。森林の整備は、植林から伐採・利用までを適切に繰り返すことが重要です。

そのために、自民党は「森は国民全体で守る」を基本に、「持続可能な森林経営を実現するための制度」をつくり、公共施設や住宅の建築等で、国産材の積極的な利用促進を図り、木材の自給率50%を目指します。



鳩山政権は早期退陣!
無 公約を守ら無い!
無 説明をし無い!
無 責任をとら無い!

青森の暮らし、経済、交流を 図るために地域を支える 道路網の整備を実現します。

全国でも有数の豪雪地帯に位置する我が青森県は、雪によって輸送、移動など、交流機会が制限されています。こうした地域の特殊性があるにもかかわらず、地域産業の活性化や地域振興で大きな期待を寄せられていた国道7号浪岡バイパスが、平成22年度の概算要求にかかわる青森県内の直轄事業計画において休止となりました。

われわれ自民党は、このような「地方の道路整備はムダ」という中央的な画一化した考え方を打ち破り、地域の特殊性をしっかりと捉え、青森地域の活性化を図るために輸送能力の向上と地域間の連携を支援するための広域的な道路網の整備を推進します。

皆様の暮らしのために、「生きたお金」を使う。責任政党として、われわれ自民党は「元気な青森」を守ります。



経済と暮らしを守るために 広域交通ネットワークを整備促進します。

- 高規格幹線道路・東北縦貫自動車道八戸線の未供用区間の整備計画区間への格上げと整備促進します。
- 津軽横断道路を整備促進します。
- 青森空港と岩木山麓を直結する道路を整備促進します。
- 国道7号浪岡バイパス全線を早期完成します。
- 上北横断道路を整備促進します。
- 下北半島縦貫道路を整備促進します。
- 八戸・久慈自動車道整備促進と未整備区間の事業着手します。
- 主要交通ネットワークの安全・安心確保対策および整備促進します。
- (仮称)西十和田トンネルの整備着手します。
- 国道103号青樺山バイパスを早期完成します。
- 国道279号を国直轄管理に編入し、整備促進します。
- 国道338号を早期完成します。
- 一般国道104号田子町夏坂と一般国道103号鹿角市大湯間のバイパスルートを整備促進します。
- 国道339号を整備促進します。
- 主要地方道・屏風山～内真部線を整備促進します。



交通
ネットワーク
東北新幹線
全線開業を機に
総合的な
交通ネットワークを
整備します。



平成22年12月4日、県民にとって長年の悲願であった東北新幹線が全線開業します。観光資源が豊富な青森県にとっては、大きな経済効果が期待されます。

この開業効果を最大限に活用するために、新幹線と既存の交通ネットワークをしっかりと結び、本県への訪問手段の選択肢を多くすることで、観光、経済面での経済効果を高めます。

- 航空路線の充実を図ります。
- 青森空港のソウル線週便の継続と充実強化を促進します。
- 青森空港の税関、入管、検疫体制の充実強化を図ります。
- 航空路線と新幹線を組み合わせた交通アクセスの充実を図ります。
- 県内各地域が有する観光の魅力を相乗的に高めるために観光バス路線の整備を促進します。

港湾設備の拡充と機能充実

三方を海に囲まれている青森県の地域性を活かし、物流の拠点となる港湾設備の整備促進を図ります。

- 北東北の国際物流拠点港として重要な役割を担う八戸港の重点的整備による機能強化を図ります。
- 青森港新中央埠頭の整備促進、コンテナ化の早期実現を推進します。
- 環日本海時代に向けた流通港湾として期待される七里長浜港を整備促進します。
- 国内外に向けたポートセールスの強化を図ります。

地方の実態を
知らない事業仕分け!!
あおもり
コンピュータ
カレッジと
職業訓練センターの
廃止に反対します。

「雇用・能力開発機構の廃止について」（平成20年12月24日閣議決定）をふまえ、青森県と関係市はあおもりコンピュータカレッジと職業訓練センターの運営改善に取り組み、昨年の鳩山内閣発足に伴って行われた事業仕分けによって基準を満たしているにもかかわらず、平成22年度末を持って一律に全廃を決めてしまいました。

この施設は情報処理関連産業の担い手の育成、職業訓練を行う拠点施設として、地域の産業振興上きわめて重要な施設であり、廃止となると有能な職業人の育成にきわめて大きな影響を与えます。しかも、職業能力開発促進法において、国及び県は、事業者や関係者の自主的な努力を尊重しつつ、その実情に応じて必要な援助を行うこととなっているにもかかわらずです。

われわれ自民党は、地方の実情をふまえないこうしたやり方に憤りを感じます。青森県にとって有能な人材育成を促進する上においても、この施設を国の責任で継続運営することを求めて行きます。

